



一般社団法人 東員町文化協会 広報



第95号

令和4年2月発行



特別寄稿

コロナ禍での文化活動



一般社団法人いなべ市芸術文化協会

会長 三輪 孝

四十年勤めた陶磁器用顔料メーカーを退職後、誘われて藤原陶芸クラブに入会し、作陶の喜びを知りました。土をこね、成形し、素焼、施釉、釉焼そして冷却後窯出し。窯出し時は至福のひとつです。偶然性を求めているわけではありませんが、「何、これ?」と心で叫ぶ時は、何物にも代えがたい思いです。いなべ市芸術文化協会では、昨年来のコロナ禍で事業を計画通り進めるにあたり、検温、消毒、換気、マスクそしてソーシャルディスタンスを厳重に管理してまいりました。その結果、何一つ中止することなく実施することができています。これも偏に職員が一丸となって努力しているおかげと感謝しています。と同時に攻める心を保持しているところに、「コロナに負けないぞ」という強さを感じます。

東員町は歴史的な文化・芸術活動の活発な地域だと認識しております。東員町文化協会におかれましては、こうした事業を持続され文化活動の活性化と伝統文化の継承に尽力されております。

先のない状況下でございますが、地域に根付いた活動がされている貴文化協会の会員皆様のご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

略歴

平成三十年
令和元年

芸術文化協会理事に就任
芸術文化協会会長に就任

文化祭

期間
会場

10月30日(土)～11月7日(日)
東員町総合文化センター



第54回東員町文化祭を 終えて

東員町の皆様と共に歩み、今年で54回目を迎える歴史の長い東員町文化祭のリーダーを任せていただくなかで、多くの貴重なご意見、温かいご協力をいただきましたながら、一生懸命務めました。お蔭様を持ちまして無事終えることができ、感謝の念に堪えません。

今後皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

展示プロジェクトチームリーダー
加藤 八重子



目次	
特別寄稿	1
第54回東員町文化祭作品展	2
個人作品展	4
公民館講座卒業生作品展	4
学校作品展	5
連載続々・歴史よもやま話	6
活動のごろ	7
追悼大平修身相談役	10
会員の文芸作品	11
第29回春の文協まつり予告	12
編集後記	12

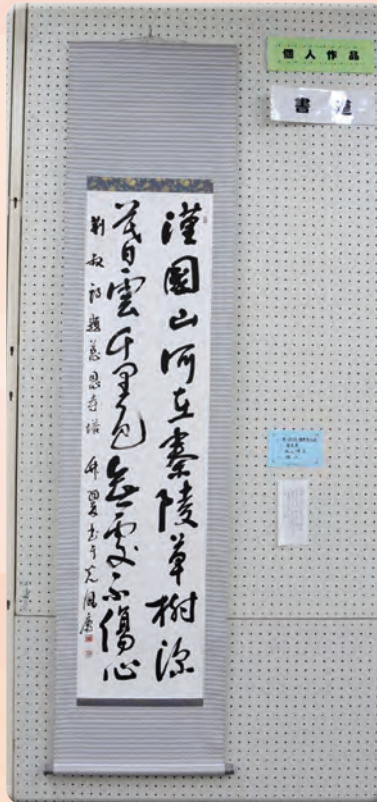
第54回

東員町



個人作品

第54回 東員町文化祭



公民館講座卒業生作品



学校作品

第54回 東員町文化祭



学童作品



続々・歴史よもやま話

其の弐

猪名部神社
第二世宮司

石垣光磨

謙虚であれ

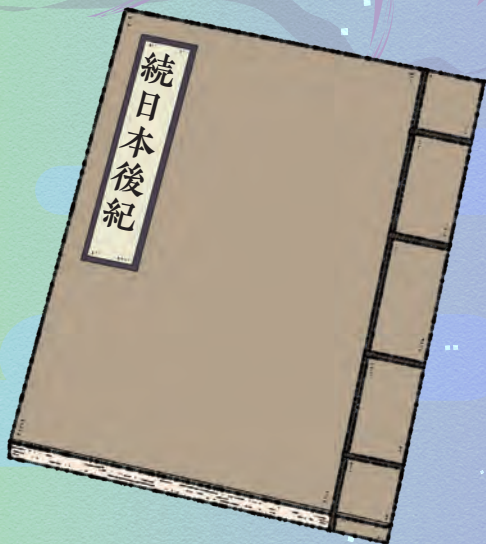
三重県に「春澄善繩^{はるすみよしただ}」という偉人がおられます。平安時代の初め、延暦16（797）年に伊勢の国員弁郡に生まれ、貞観12（870）年に没した学者です。あまり裕福とはいえぬ一族にありながら京に上り、学才一つで立身出世した善繩は六国史の一つ正史「続日本後紀」を編纂し、嵯峨天皇から清和天皇まで四朝からの信任厚く、高い人物評価は言うまでもありません。

しかしながら、善繩の生涯は波乱万丈そのもので、上京したものの「良家指定のみの限定」に卒業を見送られかけたり、政変（承和の変）に巻き込まれ左遷となるものの、国の重鎮（文章博士）として召し返されたりします。春澄善繩は平安初期ですが、明治に入り学制が敷かれ「教科書」に登場します。その表題は「謙虚であれ」。「争いを好まず、野心を持たず、ただ学問を好み、風月を楽しむ」善繩の生涯が紹介されています。明治の新政府は将来の日本を見据え、この春澄善繩を教科

書に選んだのです。

この教科書は明治大正昭和を歩まれた方々に大きな影響を与えます。第64代内閣総理大臣に任命され、54歳で当時の戦後最年少総理大臣になった田中角栄は、支援者への色紙にいつも善繩の詩を書いていました。「末ついに海となるべき山水も 志ばし木の葉の 下くぐるなり」小学校で学んだことは一生忘れることはない、それを強く思わされます。

春澄善繩の生誕地が東員町中部公園の西隣にあり、「吉澄神社遺蹟」と刻まれた石碑の存することも以前、書かせていただきました。この辺りは、岡古墳から猪名部神社古墳群を結び、天武天皇遙拝所、そして明和町の齋宮へと続く東経136度57分の聖地にありて、続日本後紀を綴り学問の神・春澄善繩を始め石垣隈太郎、七世松本幸四郎、木村俊夫生誕の地として、「謙虚であれ」の原点であるといっても過言ではありません。



岡田水彩画グループぐるーぷ美茂座

ぐるーぷ美茂座展
7月7日(水)～8月4日(水)
 於 笹尾コミュニティセンター

毎月第一水曜日に岡田水彩画グループの一員として活動している。

「グループ美茂座」会員の日頃の成果を発表する作品展を年一回7月から8月にかけて開催。会場利用者に鑑賞してもらい絵を描く励みにしています。

員弁百人一首の会

第32回東員百人一首かるた大会結果
10月10日(日)
 於 東員町武道館

有段者C級以上の部

優勝 諸岡和奏 (桑名市立陵成中2年)
 準優勝 太田智絵 (桑名市)

有段者D級の部

優勝 山田侑佳 (暁中学2年)
 準優勝 高橋茉央 (暁中学3年)

一般の部

優勝 渡邊璃奈 (暁中学1年)
 準優勝 濱口美心 (暁中学1年)

中学生の部 (準優勝なし)

優勝 六鹿奏絵 (四日市市立中学2年)

小学校高学年の部

優勝 三原芙実香 (津田学園小4年)
 準優勝 研谷新 (鈴鹿市立一ノ宮小4年)

小学校低学年の部

優勝 研谷詠介 (鈴鹿市立一ノ宮小2年)
 準優勝 三原舜一朗 (津田学園小2年)

笹尾民踊クラブ&なでしこ虎の会

伊勢神宮奉納
(名古屋・日本民踊研究会主催)
10月3日(日)
 於 伊勢神宮内宮参集殿 能舞台

第56回伊勢神宮奉納踊りに参加。神嘗祭における行事の1つとなります。神楽殿にてご祈祷を受け、内宮参拝をして、奉納おどりとなります。

コロナ禍の為延期された後の今回の奉納おどりも人数制限となり、12曲の参加となりました。

伊勢神宮式年遷宮の為に作られました曲「悠久の詩」を踊らせていただきました。

菊水流詩舞東員クラブ

笹尾睦会 11月誕生会
11月21日(日)13時～16時
 於 笹尾コミュニティセンター

笹尾睦会は11月誕生会を予定通り実行しました。マイク・机・椅子などの消毒に役員の方は懸命に働いていました。

お陰様で、コロナの発生者もなく、カラオケ・ダンス・踊り等で楽しい時間を過ごしました。参加者 60名



活動このごろ

陶芸第一クラブ

“自作の器で蕎麦を楽しむ”

11月22日(月)

於 東員町総合文化センター 調理実習室

当初は令和2年中に計画をしましたがコロナ感染の広がりで延期になり、待ちに待った開催でした。蕎麦は経験あるクラブ員の手打ちで、各会員が作った自作の蕎麦猪口にそばつゆを注ぎ、こしのある蕎麦をおいしくいただきました。

クラブとしては久しぶりのイベントで「美味しい蕎麦」を来年も楽しみたいと盛り上がり成功裏に終わりました。



箏曲麗明社「廣翔会」

いなべ市民祭 舞台発表会

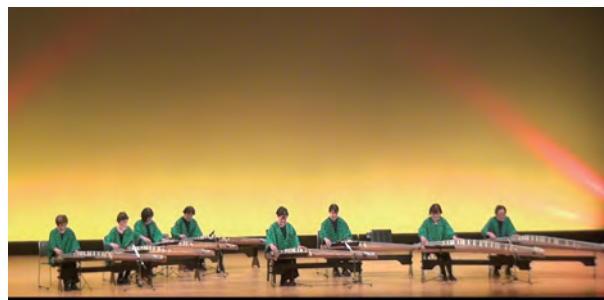
11月28日(日)

於 北勢市民会館 さくらホール

いなべ市芸術文化協会の所属団体の発表会に参加しました。

「パプリカ」、鬼滅の刃より「紅蓮華」を箏三重奏で演奏しました。

コロナ禍の中開催され、無事出演を終えることができ良かったです。



箏曲・三絃グループ「箏奏」

いなべ市民祭 舞台発表会

11月28日(日)

於 北勢市民会館 さくらホール

吉崎克彦作曲 さくらグラフ

箏合奏演奏



民謡寿会

いなべ市民祭 舞台発表会

11月28日(日)13時～

於 北勢市民会館 さくらホール

いなべ市芸術文化協会・いなべ市教育委員会共催の舞台発表会に出演しました。2日間に亘り21団体が参加しました。

コロナ感染予防で唄も、マスク&フェイスシールドを着用して唄うため違和感がありましたが、開催されたことが良かったです。



GlowMix☆

GlowMix☆発表会
Rin ~鈴・輪・凜~
12月12日(日)14時から
 於 東員町総合文化センター
 ひばりホール

今年も沢山の方々のご協力をいただき発表会を開催できました。

【世の中に明るい光を】踊り手自身やお客様の心を動かし、輪になり楽しく、清々しく凜とした3つの構成で多彩なダンスを発表しました。ステージに立てる喜びを感じながら最高の時間を過ごしました。いつも応援いただきありがとうございます!!



ニットルームかわまつ

合格おめでとうございます

令和3年度、文部科学省後援 日本編物検定協会毛糸・レース技能検定が9月19日に実施されました。

その結果、毛糸3級で永島紫織さんは優秀な成績で文部科学大臣賞を授賞しました。

他にレース2級では稲垣恵さんが、毛糸4級では黒田小百合さんが合格されました

三重県では今年度も授与式が行われない為、教室の皆さんと一緒に喜び、お祝いをしました。



笹尾吟詩会

一吟会
12月17日(金)
 於 笹尾コミュニティセンター

吟詩会では毎年最後の勉強会の日には会員それぞれが一吟を発表することにしています。数十年以来の習慣です。今年も全員元気に自分の好きな漢詩を吟じることができました。

トピックス

令和3年度北勢地域文化団体交流会

令和3年11月27日(土)に、東員町総合文化センター1階第一研修室にて、桑名市文化協会、一般社団法人四日市市文化協会、菰野町芸術文化協会、一般社団法人いなべ市芸術文化協会、一般社団法人東員町文化協会の5団体の参加で交流会を開催しました。各団体からコロナ禍の中での活動報告及び意見交換を行いました。ズーム会議や来年度オールデジタルで開催予定の写真展など今までにない取り組みも報告されました。



大平修身氏の逝去を悼む

中部短歌会東員支部代表 富田博一

短歌結社誌「金雀枝」主幹であり、東員町文化協会の相談役である大平修身氏が八月十二日に八十五歳で逝去されました。定時制高校の一年生の時、水谷一楓師の主宰する「金雀枝」に入社して以来研鑽を続け、平成四年一楓師の亡きあと結社を引き継がれており、翌年からは結社の改革に取り組み、組織体制や経理の明確化、新規企画の実行、対外的活動への参加などを実施しています。

私が金雀枝へ入社したのは平成六年でしたが、この当時の大平さんの活躍は目覚ましく平成五年に三重県文学部門奨励賞を受賞し、平成六年に日本歌人クラブ東海ブロック長、七年に中部歌人会副委員長、十年に三重県歌人クラブ委員長と三重県短詩型文学協会事務局長に就任しています。

大平さんは現実主義と努力の人だけあって義理堅さと面倒見の良い親分気質の人でしたが、少し気を使い過ぎた人でもあり、誤解を受けたことも多々あったようです。短歌の特徴は、当初よりリアリズムによる作歌法で、一貫して変わりませんでした。最新の大平さんの歌を紹介させていただきます。

○不織布マスク二重に重ね透析の
治療に向かふけふ三年目

○身の裡の水濁りゆく真夜にして
スバルは低く煌きやまぬ

○死ぬ前に琉球の海が見たかると
叶わぬことをこのごろ思ふ

大平修身先生を偲んで

員弁百人一首の会 松岡貴子

員弁百人一首の会を創設された初代会長であった大平先生の思い出を少し書かせて頂きます。

先生は大変教え上手で、私を始め会員達が県内外の大会で入賞できるほどに指導してくださいました。先生御自身が、縁がなかったとは言え、全国大会で名人クインを下し、何度も優勝された一流のかるた選手であったからでしょう。全日本かるた協会でも要職を歴任され、「競技かるた百年史」の刊行に尽力され多大な功績を残されました。

超人的な力を発揮する先生でしたが、かるたを教えるにあたって一番大切にしていたことは「自分に正直なかるたを取る」ことでした。

競技かるたのルールでは、おてつき（読まれていない札にふれる、又は読まれていない札の陣にふれる）をすると相手から一枚送られます。ところが相手がこちらのミスに気付かないときがあります。気づかない相手が悪い、ラッキーだと思うようではダメだということです。目の前の勝ちに目がくらみ、ミスを申告しないのは相手にも自分にもウソをつくこと。自分の弱さに負けるなど教えられました。

今、私も何人かを指導する立場になりましたが、心を大切にすることを伝え、いつか名人クインが鈴鹿峠を越え三重に誕生させたいという先生の悲願を達成させたいと思います。

大平先生、見守っていてくださいね。



しやくやく俳句会

時雨来てくろがねの艶石舞台

国枝 隆生

自註 平成二十七年の東員町文化協会の研修旅行に談山神社へ出かけた。紅葉の盛りで渋滞を避けるため、バスは明日香経由で帰った。通過した石舞台は折からの時雨で黒く濡れて幻想的であった。普段見ない漆黒の色を「くろがねの艶」と詠んだ。

首伸ばす小指ほどなる眼白の子

国枝 洋子

自註 小さな庭の楓の枝に眼白が巣を作り、窓から眺めては楽しんでいた。雛鳥は四羽。小さな首を伸ばして親鳥を待つのは可愛らしい。俳人協会の大会で思いがけず茨木和生先生の選に採って頂いた句。

中部短歌会 東員支部 詠草十首

○笑み失せし流浪の日日の子らの瞳が夕星美しと見上げうる日は

中村トミコ

○職場なれば小さな理不尽ながしたる今日は帰ってネコが抱きたい

小森 逸子

○穀象に遣られた古米あと少し昆布をのせて炊飯の日日

山田百合子

○きざみたるパンをたざさえ溜め池へ朝の散歩に夫の出でゆく

杉本まゆみ

○スマホもち釣りたる魚を撮りしのち男はそっと水に放てり

加藤 貴代

○藍色の小さき壺と山茶花のピンクの色に朝日かがやく

松本美江子

○コロナ禍の滞在わずか六十分心に残るマリッジの韻

山田由紀子

○若き日の下宿暮しの友とせし『星の歳時記』今も手に取る

早川 進治

○柿すだれ整然と並ぶ軒下で三毛猫おおきな欠伸をしたり

川合 孝子

○藕の木の枝の切りあと瘤となり大黒様の顔に似てきつ

富田 博一

第29回

春の文協まつり

入場
無料

※文協まつりの内容につきましては、変更になる場合があります。

※来場される方は必ずマスクを着用していただきますようお願いいたします。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、急遽開催をとりやめる事がありますのであらかじめご了承ください。

※詳細は文化協会ホームページをご確認ください。

作品展

3月9日(水)～13日(日)

展示時間 9:00～17:00

(初日は13:00～最終日は15:30まで)

場 所 東員町総合文化センター 特設展示会場

主な出展団体(文化協会加盟団体)と出展者

陶芸第一クラブ・ひばり窯陶友会
 東員フォトクラブ・書道第一クラブ
 東員書道クラブ・楽絵筆
 岡田水彩画グループ・写遊人
 中部短歌会東員支部
 ニットルームかわまつ
 洋裁サークル・マミー
 文化協会会員・公民館講座卒業生

出展内容 陶芸・写真・絵画・文芸・書道・工芸
 手芸・編物・洋裁・その他

(展示内容は作品応募状況により変更になる場合があります)

芸能祭

3月13日(日) 10:00 (開場9:30)

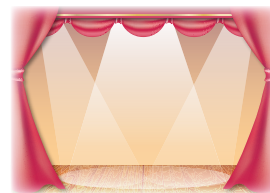
場 所 東員町総合文化センター ひばりホール

出演者

文化協会加盟団体
 YYフラグループ・YYウクレレグループ
 飛龍東員太鼓
 バトンメイツフェニックス・Glow Mix☆
 員弁東部吟詩会・菊水流詩舞東員クラブ
 箏曲麗明社「廣翔会」・東員町大正琴クラブ
 笹尾民踊クラブ・笹尾吟詩会・民謡寿会
 劇団 員弁川

(順不同)

司 会 劇団 員弁川
 (関係者のみの限定公開とさせていただきます)



尚、感染症拡大防止のため、下記行事を中止とさせていただきますのでご了承ください。

中止

大茶会(抹茶) 3月12日(土)

中止

囲碁大会 3月6日(日)

主催 (一社)東員町文化協会

後援 東員町教育委員会

申込・問合せ先 (一社)東員町文化協会 ☎76-7711

(広報委員)

編集担当 石垣 典夫・川松 由喜子・平野 義人

ホームページ担当 照井 亮平

発行 一般社団法人 東員町文化協会
 三重県員弁郡東員町山田1700
 東員町総合文化センター内
 TEL 0594-76-7711
 FAX 0594-76-2888
 E-mail info@toin-ca.org
 https://www.toin-ca.org



編集後記

ほぼ2年コロナ禍の中、東員町からの委託事業である東員町公民館講座・東員町文化祭展示部門及び本協会自主事業である春の文協まつりは、一部中止や延期はありましたが東員町教育委員会社会教育課のご指導のもと感染症対策を行ないながら事業を実施してきました。

3月の春の文協まつりは、どうなるかわかりませんが、昨年度を参考にして展示・芸能祭を実施していくことになると思います。

年末のあわただしい時期に、いなべ市芸術文化協会三輪会長様はじめ多くの方々に原稿を作成していただき感謝申し上げます。